



CLI ベースのセットアッププログラムによるスイッチの設定

ここでは、スイッチをコマンドライン インターフェイス (CLI) ベースでセットアップする手順について説明します。

スイッチを電源に接続する前に、[警告 \(13 ページ\)](#) を参照して安全に関する注意事項を確認してください。

設置手順については、[スイッチの設置 \(13 ページ\)](#) を参照してください。

コンソールポート経由での CLI のアクセス

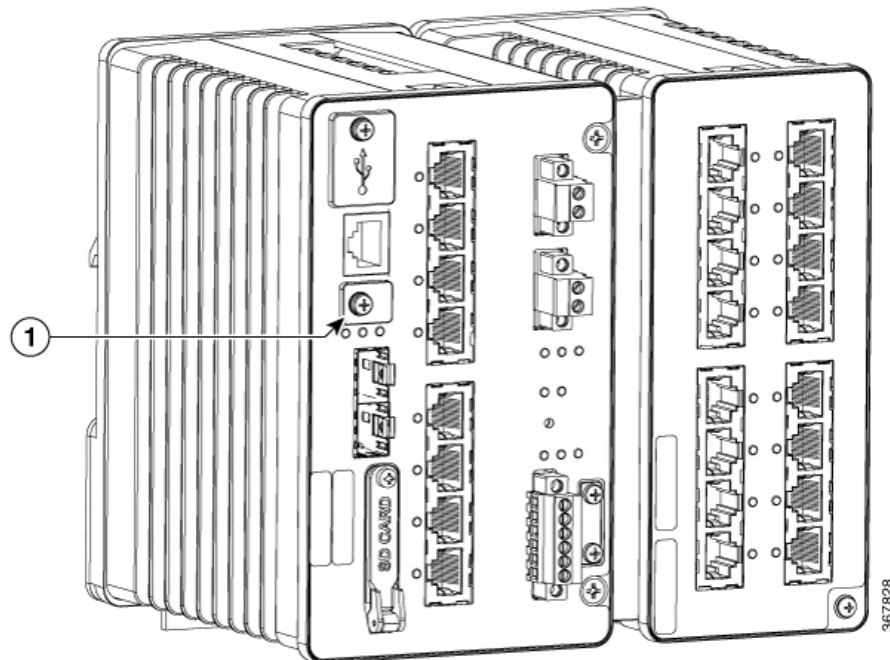
CLI を使用することにより Cisco IOS コマンドとパラメータを入力できます。次のオプションのいずれかを使用して CLI にアクセスします。

- [USB ミニタイプ B コンソールポート](#)
- [RJ-45 コンソールポート](#)

USB ミニタイプ B コンソールポート

1. スwitchの USB-mini コンソールポートを Windows ベースの PC に初めて接続するときは、USB ドライバをインストールします。
2. プラスドライバを使用して、USB ミニタイプ B コンソールポートのカバーのネジを緩めます。[図 16 \(40 ページ\)](#) を参照してください。ネジを取り外し、カバーを外します。

図 16 USB ミニタイプ B コンソールポートのカバー



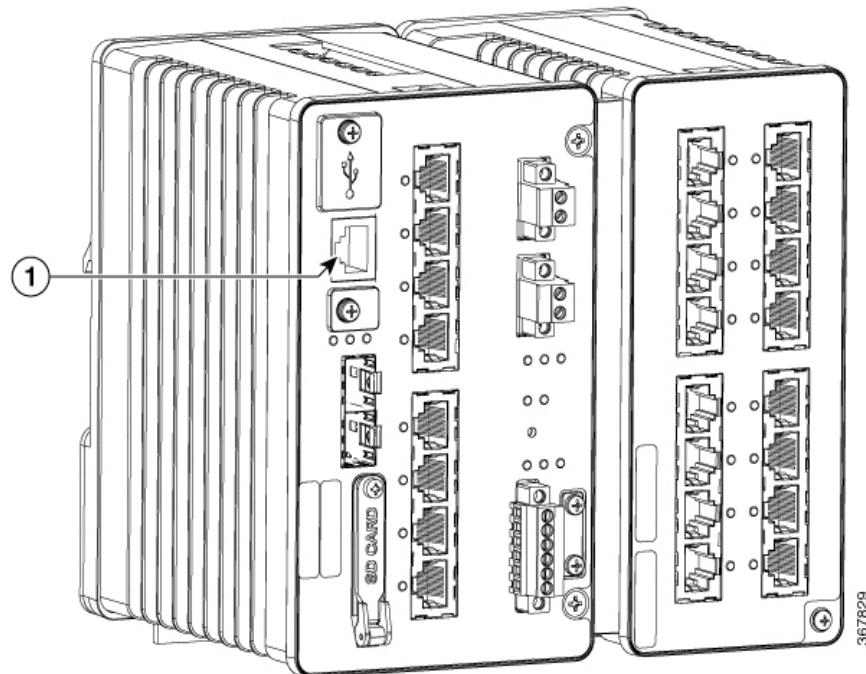
1	USB ミニタイプ B コンソールポートのカバー
---	--------------------------

3. USB ケーブルを PC の USB ポートに接続します。ケーブルの另一端をスイッチのミニ B(5 ピンコネクタ)USB-mini コンソールポートに接続します。
4. USB-mini コンソールポートに割り当てられた COM ポートを識別するには、次の手順を実行します。
 - c. [スタート (Start)] > [コントロールパネル (Control Panel)] > [システム (Systems)] を選択します。
 - d. [ハードウェア (Hardware)] タブをクリックし、[ポート (Ports)] セクションを展開します。割り当てられた COM ポートが、[Cisco USB System Management Console] というエントリの行末の括弧内に表示されます。
5. PC または端末上で端末エミュレーション ソフトウェアを起動します。プログラム (通常、HyperTerminal または ProcommPlus などの PC アプリケーション) によって、スイッチと PC または端末との通信が可能になります。
6. COM ポートを設定します。
7. PC または端末のボーレートおよびキャラクタフォーマットを、次に示すコンソールポートの特性に合わせて設定します。
 - 9600 ボー
 - 8 データビット
 - 1 ストップビット
 - パリティなし
 - なし (フロー制御)
8. 電源への接続 (18 ページ) の説明に従い、スイッチに電源を接続します。
9. PC または端末にブートローダシーケンスが表示されます。Enter を押してセットアッププロンプトを表示します。セットアッププログラムの完了 (42 ページ) の手順を実行します。

RJ-45 コンソールポート

1. RJ-45/DB-9 アダプタケーブルを PC の 9 ピンシリアルポートに接続します。ケーブルのもう一方の端をスイッチのコンソールポートに接続します。
2. PC または端末上で端末エミュレーション ソフトウェアを起動します。プログラム (通常、HyperTerminal または ProcommPlus などの PC アプリケーション) によって、スイッチと PC または端末との通信が可能になります。

図 17 コンソールケーブルの接続



1	RJ-45 コンソールポート
---	----------------

3. PC または端末のボーレートおよびキャラクタフォーマットを、次に示すコンソールポートの特性に合わせて設定します。
 - 9600 ボー
 - 8 データビット
 - 1 ストップビット
 - パリティなし
 - なし(フロー制御)
4. [電源への接続\(18 ページ\)](#)の説明に従い、スイッチに電源を接続します。
5. PC または端末にブートローダシーケンスが表示されます。**Enter** を押してセットアッププロンプトを表示します。[セットアッププログラムの完了\(42 ページ\)](#)の手順を実行します。

Cisco Microsoft Windows XP、2000、Vista、7、8、および 10 USB ドライバのアンインストール

注: ドライバをアンインストールする前に、スイッチとコンソール端末を切り離します。

1. 32 ビット Windows の場合は `setup.exe` を、64 ビット Windows の場合は `setup(x64).exe` を実行します。
2. [次へ(Next)] をクリックします。
3. Cisco Virtual Com の InstallShield Wizard が表示されたら、[次へ(Next)] をクリックします。
4. [プログラムのメンテナンス(Program Maintenance)] ウィンドウが表示されたら、[削除(Remove)] ラジオボタンを選択します。
5. [次へ(Next)] をクリックします。
6. [プログラムの削除(Remove the Program)] ウィンドウが表示されたら、[削除(Remove)] をクリックします。
ユーザアカウント制御の警告が表示された場合は、[許可する - これは信頼できるプログラムです(Allow - I trust this program)] をクリックして先に進みます。
7. [InstallShieldウィザードが完了しました(InstallShield Wizard Completed)] ウィンドウが表示されたら、[終了(Finish)] をクリックします。

初期設定情報の入力

スイッチを設定するには、セットアッププログラムを完了する必要があります。セットアッププログラムは、スイッチの電源がオンになると自動的に実行されます。スイッチがローカルルータやインターネットと通信するのに必要な IP アドレスやその他の設定情報を割り当てる必要があります。この情報は、Web UI を使用してスイッチを設定および管理する場合にも必要です。

IP 設定

セットアッププログラムを完了するには、ネットワーク管理者から次の情報を入手しておく必要があります。

- スwitchの IP アドレス
- サブネットマスク (IP ネットマスク)
- デフォルトゲートウェイ (ルータ)
- イネーブル シークレット パスワード
- イネーブルパスワード

セットアッププログラムの完了

セットアッププログラムを完了し、スイッチの初期設定を作成する手順は次のとおりです。

1. 最初の 2 つのプロンプトで **Yes** を入力します。

```
Would you like to enter the initial configuration dialog? [yes/no]: yes
```

```
At any point you may enter a question mark '?' for help.  
Use ctrl-c to abort configuration dialog at any prompt.  
Default settings are in square brackets '[]'.
```

```
Basic management setup configures only enough connectivity
```

初期設定情報の入力

for management of the system, extended setup will ask you to configure each interface on the system.

Would you like to enter basic management setup? [yes/no]: **yes**

2. スwitchのホスト名を入力し、**Return** を押します。

ホスト名は、コマンドスイッチでは **28** 文字以内、メンバスイッチでは **31** 文字以内に制限されています。どのスイッチでも、ホスト名の最終文字として **-n** (**n** は数字) を使用しないでください。

Enter host name [Switch]: *host_name*

3. イネーブル シークレット パスワードを入力し、**Return** を押します。

このパスワードは **1** ~ **25** 文字の英数字で指定できます。先頭の文字を数字にしてもかまいません。大文字と小文字が区別されます。スペースも使えますが、先頭のスペースは無視されます。シークレットパスワードは暗号化され、イネーブルパスワードはプレーンテキストです。

The enable secret is a password used to protect access to privileged EXEC and configuration modes. This password, after entered, becomes encrypted in the configuration.
Enter enable secret: *********

4. イネーブルパスワードを入力し、**Return** を押します。

The enable password is used when you do not specify an enable secret password, with some older software versions, and some boot images.
Enter enable password: *********

5. 仮想端末パスワードを入力し、**Return** を押します。

The virtual terminal password is used to protect access to the router over a network interface.
Enter virtual terminal password: *********

6. (任意)プロンプトに従って、簡易ネットワーク管理プロトコル(SNMP)を設定します。CLI または **Web UI** を使用して **SNMP** を後で設定することもできます。あとで **SNMP** を設定する場合は、**no** と入力します。

Configure SNMP Network Management? [no]: **no**

7. 管理ネットワークに接続するインターフェイスの名前(物理インターフェイスまたは **VLAN** 名)を入力して、**Return** を押します。このリリースでは、インターフェイス名には必ず **vlan1** を使用してください。

Current interface summary

Any interface listed with OK? value "NO" does not have a valid configuration

Interface	IP-Address	OK?	Method	Status	Protocol
Vlan1	unassigned	NO	unset	up	down
GigabitEthernet1/1	unassigned	YES	unset	down	down
GigabitEthernet1/2	unassigned	YES	unset	down	down
GigabitEthernet1/3	unassigned	YES	unset	down	down
GigabitEthernet1/4	unassigned	YES	unset	down	down
GigabitEthernet1/5	unassigned	YES	unset	down	down
GigabitEthernet1/6	unassigned	YES	unset	down	down
GigabitEthernet1/7	unassigned	YES	unset	down	down
GigabitEthernet1/8	unassigned	YES	unset	down	down
GigabitEthernet1/9	unassigned	YES	unset	down	down
GigabitEthernet1/10	unassigned	YES	unset	down	down

Enter interface name used to connect to the management network from the above interface summary: *vlan1*

初期設定情報の入力

8. インターフェイスを設定するために、スイッチの IP アドレスとサブネットマスクを入力し、**Return** を押します。次に示されている IP アドレスとサブネットマスクは単なる例です。

```
Configuring interface Vlan1:
  Configure IP on this interface? [yes]:
  IP address for this interface: 10.1.1.2
  Subnet mask for this interface [255.255.255.0] :
  Class A network is 10.0.0.0, 8 subnet bits; mask is /24
```

9. 次のサマリーが表示されます。

The following configuration command script was created:

```
hostname ie3300
enable secret 9 $9$rkqtjJhIkZyANU$Ib4nfuxrphBi.lixF.0Ir94k9XWYsW3nyF7G1mc6lkc
enable password cisco
line vty 0 15
password cisco
no snmp-server
!
!
interface Vlan1
no shutdown
ip address 10.1.1.2 255.255.255.0
!
interface GigabitEthernet1/1
!
interface GigabitEthernet1/2
!
interface GigabitEthernet1/3
!
interface GigabitEthernet1/4
!
interface GigabitEthernet1/5
!
interface GigabitEthernet1/6
!
interface GigabitEthernet1/7
!
interface GigabitEthernet1/8
!
interface GigabitEthernet1/9
!
interface GigabitEthernet1/10
!
end
```

セットアッププログラムが完了すると、スイッチは作成されたデフォルト設定を実行できます。次のいずれかのツールを使用すれば、この設定の変更や他の管理タスクを実行できます。

■ CLI(コマンドライン インターフェイス)

CLI を使用するには、端末エミュレーションプログラムを使用してコンソールポートから、または Telnet を使用してネットワークから、**Switch>** プロンプトにコマンドを入力します。設定情報については、『Cisco Catalyst IE3x00 Rugged Switch Software Configuration Guide』を参照してください。